



我が町新田

平成14年6月30日
第34号
発行 新田町会

ふれあい フェスティバル (主催者団体)

- ①新田町会
②小島町マンショングループ
③葛西住宅自治会
④中葛西区党住宅自治会
⑤ロイヤルマンション葛西自治会
⑥ドルミニ葛西自治会

フェスティバルを、ふり返って

大会会長
佐久間道夫

間にわたるご指導に対しまして、厚く御礼申しあげます。

「新田フェスティバルにて」



葛西第三中学校長
中島勝治

式典の頃には暑さも加わり、各校のパレードの入場で会場内が盛り上がり、区長が先に到着され、やがて市長もお着きになり、太鼓の音と大勢の方々がゴスフォード市の小学校を振って市長をお迎えし、区長の生導で登壇されました。式典においては多田区長のご挨拶にはじまり、十長の明るくユーモラスなご挨拶に関係者の緊張もほぐれ、会場内の雰囲気が和らぎました。

式典終了後、多田区長の恒例の模擬店回りが始まり、市長もご一緒に回られましたが、歓迎の方々にとて、巻かれカメラに収まるなど所々で立ち往生され、区長がハラハラする場面もあり模擬店からのプレゼントのホットドッグを召し上がられ、大変ご満足のご様子でした。昨年は、雨の中でのフェスティバルでしたが今年は好天に恵まれ、模擬店では早朝から完売御礼の紙が貼られ、大盛況でした。いよいよ恒例の大抽選会が始ままり、ため息と大喝采のうちに有意義な祭典の幕を閉じました。

公署及び、各種団体、町自治会役員の方々のご協力と大勢の地域の方々のご参加を頂き、特に自治係の長期会議

「新田フェスティバルにて」

新田フェスティバルのように地域が一体となつて楽しむことができる祭典があることは、子どもたちにとてもとても幸福なことだと思います。焼そばを作つてるのは保育園のときに遊んでくれた子供会のおじさんです。小学校のときの担任の先生が声をかけてくれました。なんだかちよつと照れます。向うの木陰で先輩が友だちとかき氷を食べています。先輩と同じ氷イチゴが食べたくなつて友だちのお母さんがいるテントの前に並びました。広場のステージでは、小さかつた頃によくお菓子をくれた隣のおばあちゃんが、民謡でしようか楽しそうに踊っています。模擬店をのぞくと、知っている人がたくさんいます。行き交う人々もどこかで見かけたことのある人たちばかりです。葛西三中の生徒にとつてはもう一つの故郷、宮城県志波姫町の皆さんが今年も来てくださいました。なつかしい笑顔にまた会うことができました。高校生になつたら遊びに行くという約束忘れていませんよ。

五月二十六日の日曜日は、楽しいことがいっぱい詰まつた一日だつたと思います。新田フェスティバルは、葛西での温かい体験として、この町で育つた子どもたちの心の中にいつまでも生き続けることでしょう。



川面に初夏の風が吹き抜け、新左近川親水公園と公園から延びてくる緑道の眺望が素晴らしい、まさしく水と緑に囲まれた施設がこの会館です。地域文化の向上と「コミュニティ形式」寄与することを目的に平成8年4月に開設し、6年目を迎えます。現在72サークル、393人の皆様が団体登録され、活動の輪を広げられておりまます。また、年間75,000人がこの会館をご利用されています。過日、サークル連絡会の総会が開催され、新役員さんと年間活動計画が承認されました。終了後の懇親会では手づくりの料理を持ち寄り、楽しく和やかな交流のなか盛会のうちに終了いたしました。

さて今後の会館の事業として、7月28日に毎年恒例の「左近川イブニングファンタジー」が開催されます。現在、担当サークルの役員さんと企画を検討しているところです。どうぞご期待下さい。また、12月1日には「第6回サークル発表会」が行われます。「心の日頃の成果が今から楽しみです。ひとりづつ、つなげようサークルの和」のテーマのもと、各サークルの皆さんと一緒に楽しめます。どうぞよろしくお預けいたします。